

うらやす P-Life

ひとひと
女と男が認めあい、共にかがやくまち・うらやす

vol.14

2015年
11月



男女共同参画ニュース
男女共同参画センター《ルピナス》

P-LifeのPとは
Personality (個性・人格)を尊重する
Positive (積極的)な生活に
Plus となる情報紙という意味です。

オトコとオンナ…だけじゃない!?

特集

知っていますか? 性の多様性

世の中の性は「女性」か「男性」のどちらかだけ。恋愛は異性を対象とするもの。そう考えてしまいがちですが、私たちの性は思った以上に多様です。今号の『P-Life』では、教育現場やさまざまな企業でも取り組みが進む「性の多様性」について考えます。

性の多様性を
表す記号が
たくさん!

■記号の意味



性的マイノリティの社会運動を象徴するカラーとして、1970年後半から使われるようになりました。もともとは8色でしたが、現在では6色(赤、橙、黄、緑、青、紫)が一般的となっています。

性別にとらわれない個人の在り方を
尊重するために

性の多様性を知ろう

「性の多様性」って何だろう？

「性の多様性」とはどういう意味でしょう？これは、今まで「男と女の2種類しかない」と捉えられがちだった性別が、実はもっと複雑なことを示しています。

表現する言葉が追いつかないほどの多様性

「性別」と聞くと、戸籍上の「男性」「女性」を思い浮かべることが多いかもしれません。しかし、実際には下記のように、多種多様に分類されています。当たり前だと思われていた「女性」「男性」や「異性愛」という枠組みが正しいのか、改めて見つめ直す必要があるでしょう。

生物学的な性	身体の性別
性自認	自分が男である、女であるなどの認識
性的指向	どの性別を恋愛・性愛の対象とするか
ジェンダー	社会的／文化的につくられた性

すべての人が輝き、活躍できる社会にしていくには、個人の多様な在り方・生き方を尊重することが不可欠です。そこで、今、注目されている「性の多様性」とは何か具体的に見てみましょう。

「性の多様性」における取り組み

「性の多様性」に対する認識の広まりを受け、SNS などでは性別記入欄が多様化したり、企業も LGBT に対応した新卒採用や顧客サービスを行ったりするなど、さまざまな取り組みが進んできました。

性の多様性における国内外の取り組みの例

- 2000年 オランダで世界初の同性結婚法が成立
- 2003年 LGBT を公表した地方議員が誕生
- 2004年 性同一性障害者特例法が成立
- 2009年 金融会社が LGBT 学生のための就職説明会を開催
- 2013年 同性カップルがテーマパークで挙式
- 2014年 「性の多様性」の啓発イベントに多数の企業が参加
- 2015年 文部科学省が全国の学校に対し LGBT の子どもへの配慮を求める通知
携帯電話の家族向け割引が同性カップルにも適用
アメリカ連邦最高裁判所の判決により同性婚が全州で合憲に

「LGBT」って何だろう？

「性の多様性」を知る上で、必ず出てくる「LGBT」という言葉。これがどんな意味か知っていますか？

「LGBT」の言葉の意味

- L** レズビアン：女性同性愛者。「レズビアン」「ビアン」と表現します。
- G** ゲイ：男性同性愛者。欧米では「ゲイ」で男性・女性を問わず、同性愛者全般を表すこともあります。
- B** バイセクシュアル：両性愛者。恋愛対象が同性の場合も、異性の場合もある人。恋愛対象が性別に関係ないため、「パンセクシュアル（パン＝すべての）」と呼ぶ人もいます。
- T** トランスジェンダー：自分の性別に違和感がある人。トランスジェンダーは、心と身体の性別が一致しないことを指す「性同一性障害」よりも広い概念として捉えられています。

LGBT は身近な存在

2015年4月に電通ダイバーシティ・ラボが行ったインターネット調査※によれば、LGBT 層に該当する人は7.6%。13人に1人の割合で LGBT の人がいることになり、決して少ない数とは言えません。

■ LGBT 層に該当する人の割合



※「LGBT 調査 2015」。日本全国の20～59歳の個人69,989人を対象に行われたインターネット調査。

「性の多様性」と人権

多様な性が知られる一方で、「女らしさ」や「男らしさ」、異性愛を当然とする固定的な考え方は今なお多く残っています。このような現状に対して、当事者はどんなことに葛藤や苦しみを感じているのでしょうか？

24時間365日つきまとう葛藤

自分の性に葛藤を持つ人たちは、日々、自身の「性別」で悩んでいます。そのような悩みは、例えば以下のようなことが挙げられます。

トイレや更衣室、服装、髪型、自分の名前の呼び方

身体の性と心の性が一致しない場合でも、女性用または男性用のどちらかを選択しなければならない場面があります。

声や体つきなどの変化

声や体つきなどが年齢とともに変化することで、自認している性との不一致や違和感を覚え、悩むことがあります。

人間関係

好きになる人が同性だったり、自分の性の悩みの相談相手を見つけるのが難しいなど、胸の内を告白できない葛藤があります。

日常で配慮したい言葉や会話

日常でも「女らしさ」や「男らしさ」といった性別を固定的にとらえた会話に出くわすことが少なくありません。しかし、そうした会話が自分の性に違和感を覚える人や異性愛以外の性的指向を持つ人など、多様な生き方をする人たちの尊厳を傷つけることも。例えば以下の言葉・表現にも気をつけたいものです。

- 「レズ」「ホモ」「オカマ」「オネエ」などの言葉や表現は差別的に使われてきた経緯があり、不快に感じる人が多くいます。
- 異性愛を前提とした質問や会話
「彼氏（彼女）いるの？」などの「異性愛」を前提とした会話は、多様な性のあり方を排除してしまう可能性があります。

専門家インタビュー

「知る」ことが多様性の第一歩

ゆっくりではあるものの、認知度が広がりつつある日本

近年、欧米の先進国では同性婚が認められるなどして、「性の多様性」に対する考え方が変わってきています。一方、日本は、「恥の文化」の影響でしょうか、「性」に関する話題がオープンになることはあまりありませんでした。近年、メディアなどの影響もあって「LGBT」に対する認知度がゆっくりと広がりつつあります。以前ならタブーだった「LGBT」の人たちがテレビなどに登場するようになってきたのは、多様な性が市民権を獲得しつつある証ではないでしょうか。

その一方で、メディアが「らしさ」を強調し過ぎる点には注意が必要です。ゲイの人でも女性的な表現や生活をする人もいれば、男性的な表現や生活をする人もいます。メディアで取り上げられるのは前者がほとんど。外見だけで、人の性のあり方は分かりません。また、他人が決めつけるものでもありません。

「知る」ことは自分と大切な人を守ることに

認知度が上がる上でもうひとつ気をつけなければいけないのが、バラエティー番組などでの言動が日常生活で安易に複製されていることです。テレビの世界を笑い話にするのは、誰にでもあること。しかし、その陰で「LGBT」当事者が傷ついていることを忘れてはいけません。その話題に同調しなければ、「あの人もそうなんじゃない？」と、攻撃の矛先を向けられてしまう。差別の対象になるのを避けるために、周囲と一緒に笑って、自己嫌悪に陥り、自尊心を失ってしまうのです。

このようなことを起こさないためにも、「性の多様性」について知識を身につけることが不可欠です。「知る」ことで自分を守ることができます。また、大切な人を無意識で傷つけなくてすむかもしれません。

自分のアイデンティティを決めるのは自分自身です。必要なのは、「男らしさ」や「女らしさ」「異性愛」といった、今まで当たり前と思われていたことを問い直すこと。そして、「当たり前」の枠の外で差別や偏見を受ける人がいることを想像する力です。誰もが心地よく生きられる、ユニバーサルな社会が、今、求められています。



いいたあきら
飯田亮瑠さん

任意団体 Diveinnon (ダイブイノン) 代表。主に教育現場において、性の切り口（セクシュアリティ）から多様性と人権を考える場を提供するなど、多様性・人権について幅広い啓発活動を展開中。



飯田さんが答える

「性の多様性」の Q&A

Q 性同一性障害と 同性愛は同じこと？

いいえ、違います。性同一性障害は診断名で、一般的にはトランスジェンダーや性別違和という言葉が使われます。一方、同性愛は性的指向であり、同性の人が恋愛対象になることです。

Q 自分がLGBTだったら カミングアウトしないと いけない？

カミングアウト（告白）は、してもよいですし、しなくても構いません。自分が打ち明けたいときや、安心して打ち明けられる相手がいる場合はカミングアウトしてよいでしょう。「この人なら安心できる」という味方を探しておくともよいでしょう。少しでもストレスを取り除き、自分らしく生活できる環境や人間関係をつくっておけるとよいですね。

Q 知り合いや友だちから カミングアウトされました

知り合いや親しい人からカミングアウトされたら、驚くかもしれません。ただ、カミングアウトは「否定されたらどうしよう」という不安の中で、勇気をもって行われることが多いです。「話してくれてありがとう」という言葉や肯定的に聴く姿勢が、打ち明けた人を安心させます。本人の了解なしに第三者に伝えることは避けましょう。カミングアウトした人のいろいろな面を尊重しながら、よい関係を築いていけるとよいですね。

Q 友人が自分の性で 悩んでいるみたいです

「13人に1人」という前述のデータでもあったように、「性の多様性」はごく身近なことです。悩んでいる人が近くにいても不思議ではありません。友人が悩みを抱えているように見えたら、そっとそばで待ってみてください。大切なのは、「何かあれば、いつでもどんなことでも相談にのるよ」というサインを出しておくこと。その友人「らしい」在り方を尊重する姿勢をいつも示しておくことが大事です。

男女共同参画センター《ルピナス》 information

男女共同参画センター《ルピナス》では、「相談」・「講座の開催や図書の貸出し等を通じての情報提供」・「市民の交流・ネットワークづくりの支援」をしています。

開所時間 / 場所

時間 月～金 8:30～17:00
(土・日・祝・年末年始休み)
場所 文化会館 2階

相談

女性が抱えるさまざまな問題を自ら解決するための支援をしています。

- 女性のための相談（予約制）
毎週 月・火・木 10:00～16:00 ※このうち3回は 14:30～20:00
第2水・第4金 14:30～20:00
- 女性のための法律相談（予約制・月2回）

人権に関するさまざまな問題について、法務大臣から委嘱された人権擁護委員が相談に応じます。

- 人権相談
毎月 第2月 13:00～15:00

個室で相談が受けられます▶
(※秘密は守られます)

相談室

